

衛生研究所WEBページ情報

(アクセス件数・順位 平成22年10月分、電子メールによる問い合わせ・追加・更新記事 平成22年11月分)

横浜市衛生研究所ホームページ(衛生研究所WEBページ)は、平成10年3月に開設され、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報等を提供しています。

今回は、平成22年11月のアクセス件数、アクセス順位及び平成22年11月の電子メールによる問い合わせ、WEB追加・更新記事について報告します。

なお、アクセス件数については総務局IT活用推進課から提供されたデータを基に集計しました。

1 利用状況

(1) アクセス件数 (平成22年10月)

平成22年10月の総アクセス数は、194,430件でした。主な内訳は、感染症60.6%、食品衛生13.0%、保健情報10.6%、検査情報月報5.3%、生活環境衛生2.0%、薬事1.2%でした。

(2) アクセス順位 (平成22年10月)

10月のアクセス順位(表1)は、第1位が「アシネトバクター感染症について」、第2位が「マイコプラズマ肺炎について」、第3位が「コレラについて」でした。

第1位は「アシネトバクター感染症について」でした。

9月3日に、帝京大附属病院で、多剤耐性菌アシネトバクター・バウマニ(MRAB)による大規模な院内感染についての報道発表がありました。

このため、平成22年9月における、衛生研究所のこのサイトでは、15万件以上ものアクセス数がありました。

感染対策が施され、感染がおさまるにつれアクセス数は減少していますが、依然として関心の高さが伺われます。

病院では患者受け入れを制限していましたが、11月20日から新規患者の入院受け入れを再開しています。

第2位は「マイコプラズマ肺炎について」でした。

国立感染症情報センターの報告によりますと、マイコプラズマ肺炎の定点あたり報告数は、第42週(10/18～24)に増加しており、過去5年間の同時期と比較してかなり多い状況です。この影響もあって、アクセス数が多かったものと思われます。

第3位は「コレラについて」でした。

10月21日にハイチでコレラの流行が確認され、感染拡大が続いています。また、パキスタンでは、7月末の大規模洪水以来、コレラをはじめ多くの感染症が発生しています。このため、アクセス数が多かったものと考えられます。

コレラはコレラ菌(Vibrio cholerae)に汚染された水、氷、食品などを経口摂取することによって起こる下痢を主症状とする病気です。潜伏期間は数時間から5日で、その後、下痢や嘔吐などの症状がみられます。

表1 平成22年10月 アクセス順位

順位	タイトル	件数
1	アシネトバクター感染症について	10,781
2	マイコプラズマ肺炎について	6,441
3	コレラについて	4,725
4	衛生研究所トップページ	4,242
5	ポリオ(小児麻痺・急性灰白髄炎)について	2,605
6	サイトメガロウイルス感染症について	2,603
7	B群レンサ球菌(GBS)感染症について	2,483
8	大麻(マリファナ)について	2,434
9	感染症トップページ	2,390
10	チメロサルとワクチンについて	2,088

データ提供: 総務局IT活用推進課

胃腸の弱い人や胃切除を受けた人、高齢者、乳幼児などは重症化し、昏睡状態に陥り死亡する例もあります。

治療としては、下痢によって体内から失われた水分と塩化ナトリウム等の電解質の補給が主となります。脱水症状が激しい場合は点滴による治療が必要となり、抗生物質を併用します。

(3) 電子メールによる問い合わせ（平成22年11月）

平成22年11月の問い合わせの件数は、5件でした(表2)。

表2 平成22年11月 電子メールによる問い合わせ

内容	件数	回答部署
疥癬について	1	感染症・疫学情報課
ポリオワクチンについて	1	感染症・疫学情報課
トキソプラズマについて	1	感染症・疫学情報課
プリンの薬品臭について	1	検査研究課 食品添加物担当
破傷風ワクチンについて	1	感染症・疫学情報課

2 追加・更新記事（平成22年11月）

平成22年11月に追加・更新した主な記事は、6件でした(表3)。

表3 平成22年11月 追加・更新記事

掲載月日	内容	備考
11月8日	横浜市人口動態統計資料(平成21年)	追加
11月11日	感染症に気をつけよう(11月号)	追加
11月11日	成人の肺炎球菌感染症	追加
11月19日	平成21年度 衛生研究所業務実績	追加
11月26日	高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生状況	更新
11月26日	ニューデリー・メタロ-β-ラクタマーゼ1(NDM-1)産生多剤耐性菌について	更新

【 感染症・疫学情報課 】